

# 神戸学院大学 2022年9月



## 男女共同参画ニュース 第41号

### 教職員対象 男女共同参画推進講演会を開催します

追手門学院大学教授で元日本学術会議副会長の三成美保先生を迎えて、大学におけるジェンダー平等について講演で学びます。教室参加、Zoom参加、の希望を明記して男女共同参画推進室にお申し込みください。教室参加の場合は、マスク着用、離れて着席ください。(対象は教職員のみ)

- ・日時：9月22日(木) 13:45~15:15
- ・場所：KPCI B301 講義室、KAC 115A 講義室  
Zoom
- ・テーマ：大学におけるジェンダー平等の推進—方法と効果

### オンライン・ランチタイム・ミーティングを開催します

～10月17日(月) 11:55-13:35～

ランチタイムの時間に、オンラインでつながっておしゃべりしませんか。zoomのほかに、D号館1階会議室@KPCでもご参加いただけます。出入り自由です。お気軽にご連絡ください。



### お父ちゃんの子育てばなし

連載  
第14回

私が育児休業を取得した期間は、第二子が産まれた後の2021年9月から11月までの約2ヶ月間です。育児休業を取得した背景は、長男が2021年度の保育園の抽選に外れてしまったことで、妻の負担が大きくなってしまわないかと思い、育児休業を取得することで妻の負担を軽減したいと考えたからです。実際に育児休業期間が始まると常に長男か次男のどちらかが泣いており、ほぼ24時間付きっきりの状態で育児をし、家事ができるのはタイミングよく子ども2人が寝てくれた時ぐらいでした。妻と分担しながら何とか2ヶ月の育児休業期間を終えましたが、1人では家事と育児の両立は難しかったと感じています。そのため、職場復帰をした今では、仕事はできる限り定時で終えられるように調整を行い、帰宅後は少しでも子どもと一緒に過ごすようにしています。

育児休業制度を実際に取得して感じたことは、子どもの成長を傍で感じ取れる喜びや、育児を主体的に実践できる貴重な経験・時間であるということです。その一方で、一定期間育児休業を取得できたのは、職場内や部署内での周囲の理解と取得しやすい雰囲気があったからだと思います。今後、周囲や同僚が育児休業を取得される立場になることがあれば、安心して取得してもらえるように努めていきたいと思っています。

(教務センター 吉本 優太)

### 2022年度「神戸学院大学 男女共同参画 キャッチフレーズ」表彰式を開催しました

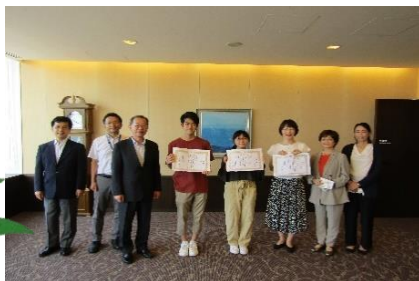
全481の応募作品から次の3作品が優秀作品に選ばれました。8月10日に表彰式を開催し、学長からは「非常に良いキャッチフレーズの応募をありがとうございました。」と感謝の言葉がのべられました。受賞作品は、男女共同参画の広報・啓発活動に使用されます。

#### 最優秀賞

- ・「みんなのColorが集まれば  
社会はもっとColorfulになる」  
鹿島 紗希さん  
(経済学部1年次生)

#### 優秀賞

- ・「男女共同、それ『いいね』」  
江崎 隼斗さん  
(法学部2年次生)
- ・「個性が輝く、社会が輝く」  
田中 宏美さん  
(グローバル・コミュニケーション学部実習助手)



### メンター制度をご利用ください

ライフイベント(子育てや介護など)やキャリア形成について、経験豊かな本学の先輩から具体的な助言を受けることができる制度です。メンター制度専用窓口までお気軽にご連絡ください。

menta-danjo@j.kobegakuin.ac.jp

### 【再掲】第4回森わさ賞候補者募集しています

研究・教育・社会における活動において優れた功績をあげた女性の教職員・卒業生・修了生を表彰する「森わさ賞」候補者募集の締め切りが近づいています。自薦/他薦、分野を問わず、ご推薦・ご応募をお待ちしています。詳細は、本学HPから「男女共同参画推進への取り組み」→「取り組み・案内」→「森わさ賞」へと進んでください。

神戸学院大学 男女共同参画推進室

住所 神戸市中央区港島1丁目1番地3  
電話 078-974-1551(代表) 内線 84453  
078-571-0927(直通)

メール danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp

